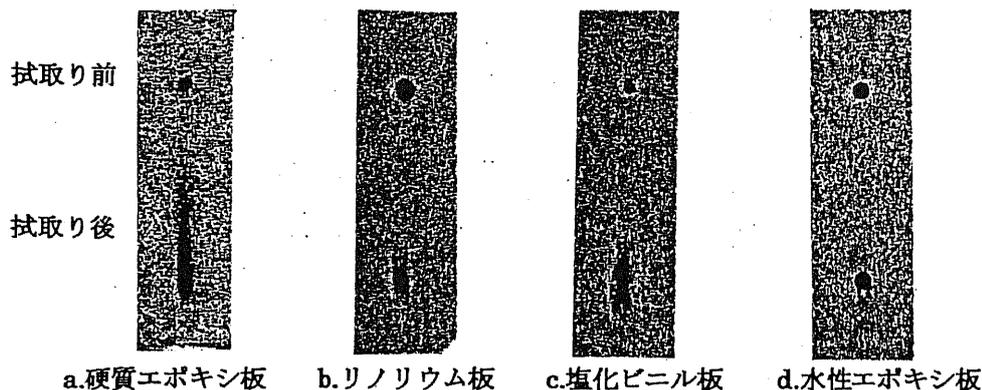


B. 拭取り面の RI の挙動

汚染源から拭取られた RI は、硬質エポキシ板で 40%前後、その他は 10%以下であった。拭取り面に残存する RI についての報告はない。そこで拭取り面の RI の挙動をイメージングプレート(IP)で画像化した。IP-1 に硬質エポキシ板、リノリウム板、塩化ビニル板 および水性エポキシ板の画像を示す。

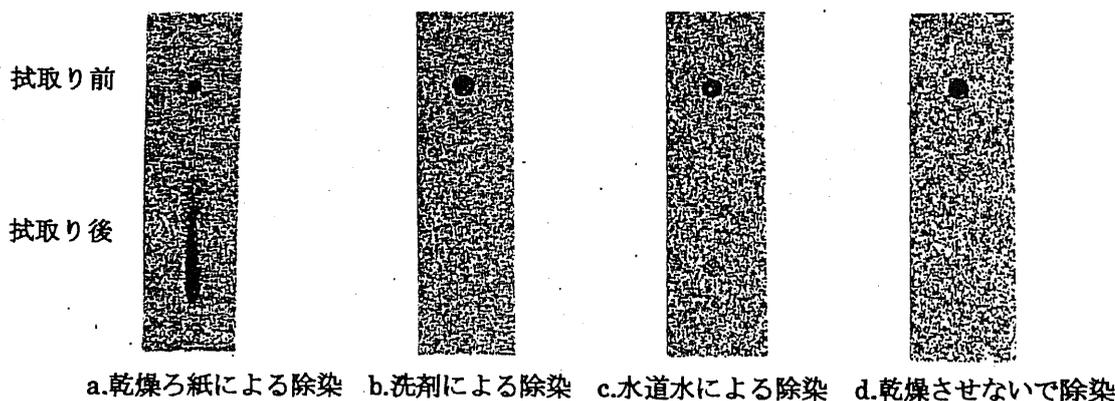
いずれも拭取り作業により、汚染源から汚染の拡大していることが認められる。

IP-1 乾燥ろ紙による拭取り後の拭取り面の画像



これらの結果から、硬質エポキシ板の除染を試みた。左から対照、洗剤で除染、水道水で除染および汚染源を乾燥させずに除染した結果を示す(IP-2)。IP-2 から明らかのように、洗剤または水道水で除染すると、ろ紙による拭取りにより拡大した汚染が 95%以上除染されること、さらに乾燥させることなく除染するとほぼ完全に除染されることが認められた。

IP-2 洗剤および水道水による除染後と乾燥させないで除染後の拭取り面の画像



以上の結果から、RI による汚染は乾燥させずに除染すると最も効果があり、洗剤または水で除染することも効果的であることが示された。従って、汚染検査は湿らせたろ紙で行なうと確実な評価が出来ると考えられる。さらに、一般の汚れの除去も、乾拭きでは汚れを拡大する恐れがあり、汚れを乾燥させる前に拭取ると効果があること、また、乾燥した汚れは、洗剤または水で拭取ると効果のあることが示唆された。